

## 経絡治療特典 【4日目分】

---

### ①経絡治療特典動画

#### 【4日目 経絡治療編】

#### 1 経絡治療特典動画

- ・肺経(井穴)を利用した母指球筋～小胸筋治療

<https://www.youtube.com/watch?v=hBJuTK3kdUU>

- ・経穴を利用した胃の治療

[https://www.youtube.com/watch?v=qAxEYCU3\\_w4](https://www.youtube.com/watch?v=qAxEYCU3_w4)

- ・経穴を利用した胆嚢治療

[https://www.youtube.com/watch?v=dxzfl\\_JLMNw](https://www.youtube.com/watch?v=dxzfl_JLMNw)

- ・経穴を利用した肝臓治療

<https://www.youtube.com/watch?v=UaRRO-eVn7Y>

- ・三陰交を使った恥骨治療

<https://www.youtube.com/watch?v=zFwST3HTPU0>

- ・労宮を使った心膜治療

<https://www.youtube.com/watch?v=Ayd-RGehQas>

足三里を使った胃治療

<https://www.youtube.com/watch?v=GI4g8ZebTbE>

経穴を使った腎臓治療

<https://www.youtube.com/watch?v=3UO4tvp0WYU>

## ②経絡治療ポイント

### 【経絡治療とは？】

・鍼灸学では、経脈と絡脈のことである。2つを合わせて経絡です。

経脈：身体を縦に流れる脈のこと 十二経脈 奇経八脈がある

絡脈：経脈同士で連係、網状に全身をまとうという意味がある

### （十二経脈について）

それぞれが臓腑・頭部・体幹・四肢などと連絡しており全身に気血を巡らせ相互に接続して端のない1本の環になる。走行には方向性があり、その流れを流注という。

### （経穴・奇穴・阿是穴）

#### ①経穴

経穴は、中国の中医学から由来しております。経験的な知見から発見されたものらしいです。「気と血」のエネルギーの通り道であるといわれる経絡上にあって、気血が出入りし、経絡が合流したり分枝したりする経絡状の重要なところ。

#### ②奇穴

名称や部位は決められているが、鍼灸学理論体系とは別の考え方で、臨床の場で応用されるツボ。特攻穴などとも呼ばれている

#### ③阿是穴

触られたり、押圧されたりしたときに感じる体表の圧痛部や敏感になっている点、また、触れた人が感じる硬結であったりする点。トリガーポイントや圧痛点の概念に近い。

### 【経絡治療の使い方】

経絡は、内臓や体表を貫いているため内臓治療や筋膜調整も行えるだけでなく人のエネルギーも高めることができる。

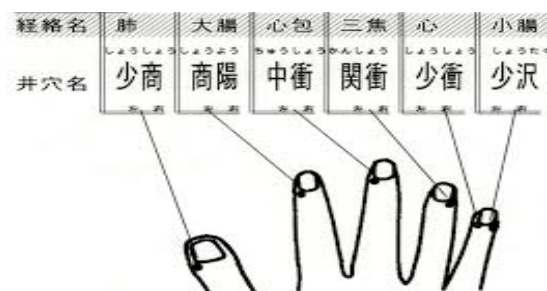
(調整方法)

- ① 経絡に沿ってマッサージ
- ② 経絡に沿ってエネルギーを流す
- ③ 経絡を使って筋の治療
- ④ 経絡を使って内臓治療

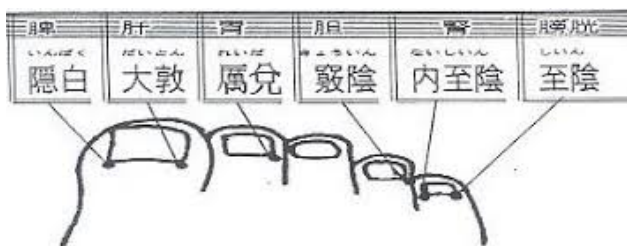
最も簡単なのは、井穴の圧痛を取り切ること。

※井穴は、経気が出（脈気の出ところ）を主っているところ。簡単にいえば、12 経脈の始まりや終わりを表しています。

(手 井穴)

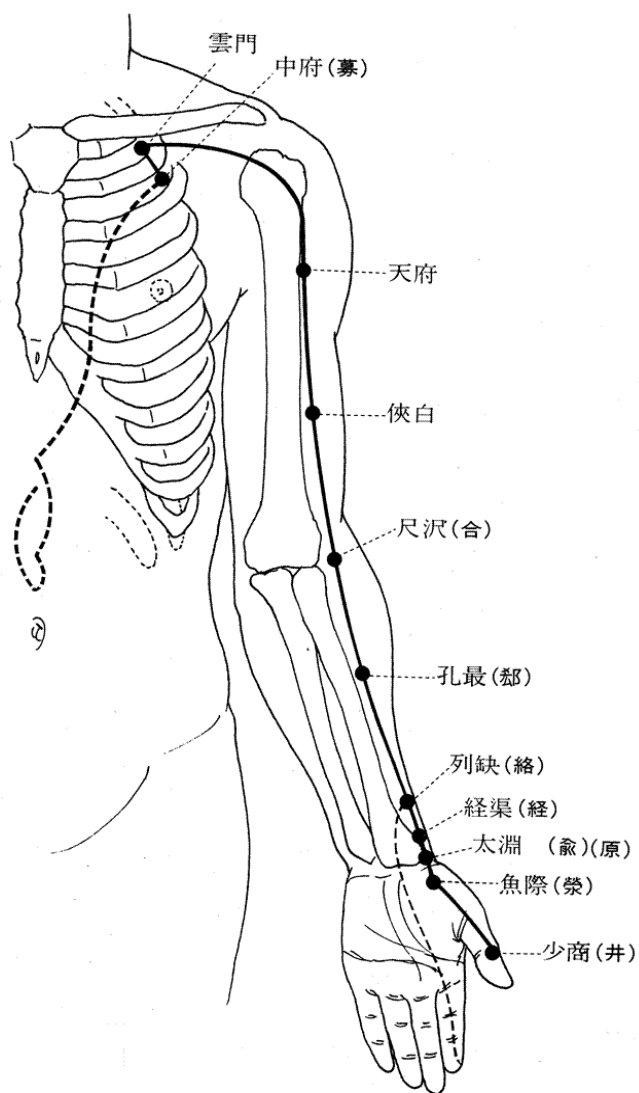


(足 井穴)



※十二経脈について1つ1つ紹介していきます。

## ① 肺経について



【どんな治療で使うのか？】

**内臓治療**：肺

**筋膜治療**：母指球筋、大胸筋、小胸筋、上腕二頭筋、腕橈骨筋、鎖骨下筋などにも使用

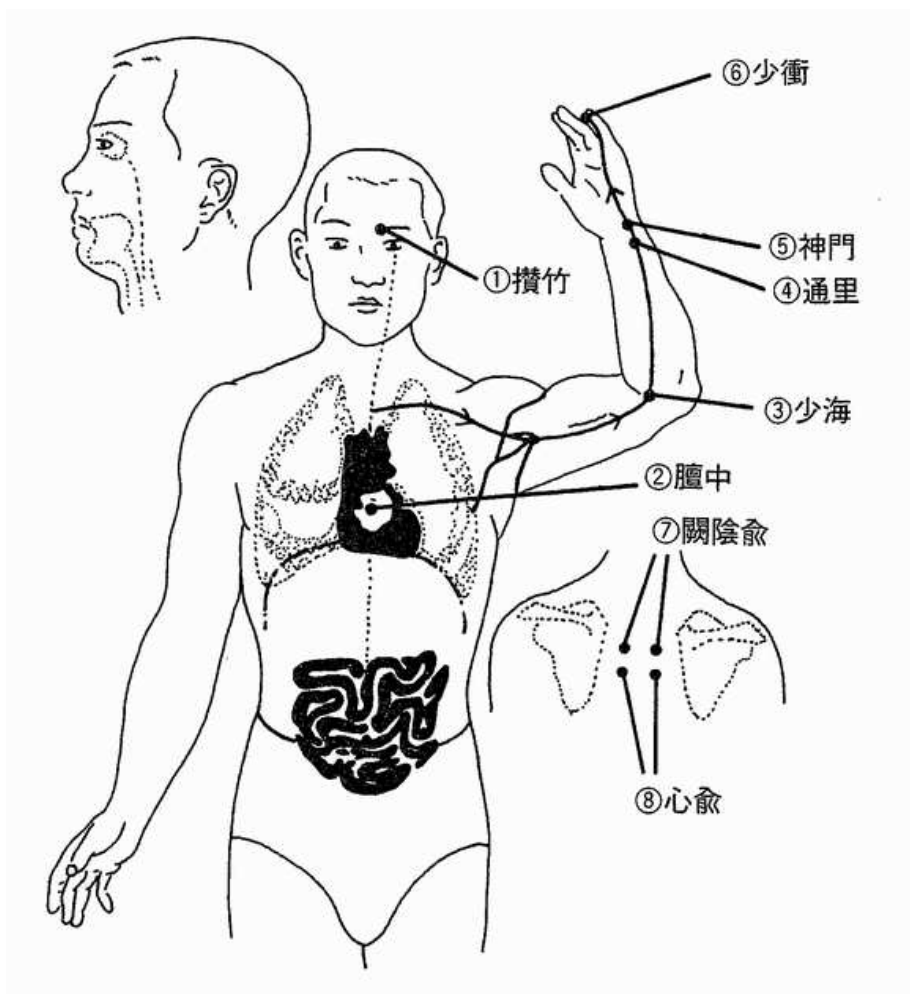
【指標】

・穴井の硬さ、頸部の可動域など

【どんな疾患で使うのか？】

- ・手の痺れや腱鞘炎・肩こり・頸部痛・背部痛・腰痛など
- ・風邪（狭白）、ギックリ腰（中腑）、肺由来の症状（アレルギー・喘息など）
- ・ストレスや精神疾患系
- ・喉の周りを取り囲んでいるため風邪に使うことが多い

## ② 心経について



【どんな治療で使うのか】

内臓治療：心臓

筋膜治療：小指球筋・内側上から起始する筋群、上腕三頭筋など

【指標】

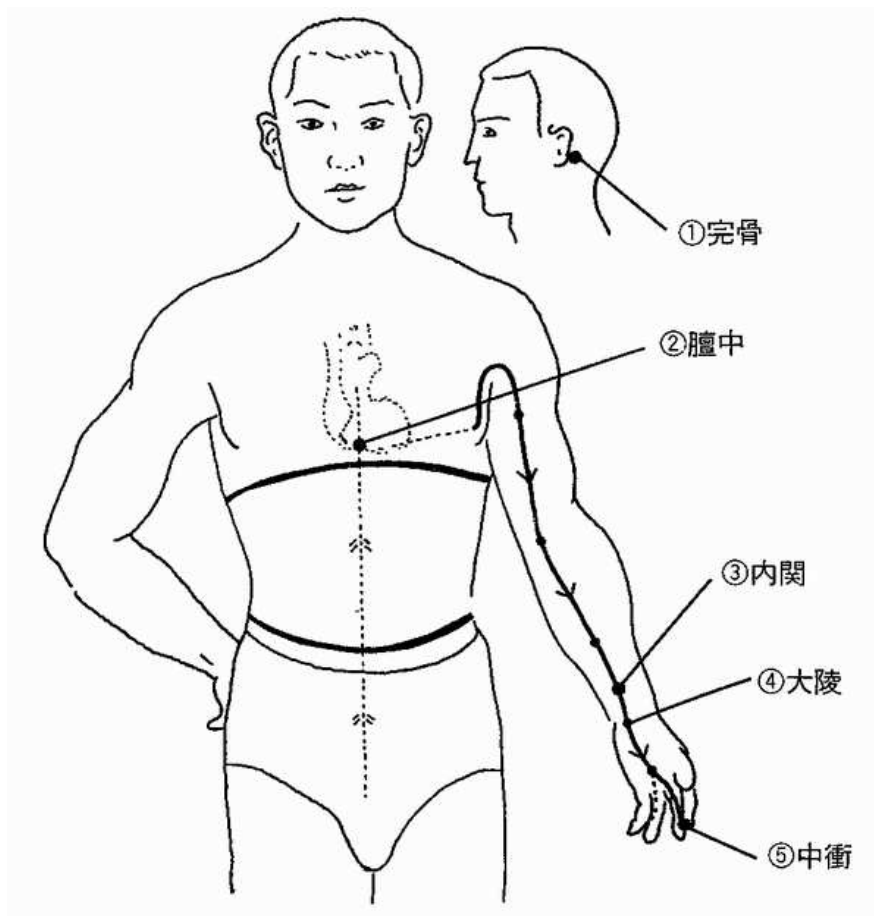
頸部可動域、肩可動域など

【どんな疾患に使うのか？】

腱鞘炎、肘痛、肩こりなど、手の痺れ

心臓由来の疾患、精神活動との関係も深い

### ③ 心包経について



【どんな治療で使うのか？】

**内臓治療**：心膜

**筋膜治療**：大胸筋・小胸筋・外肋間筋・内肋間筋・上腕二頭筋・烏口腕筋・橈側手根屈筋、浅指屈筋、長掌筋

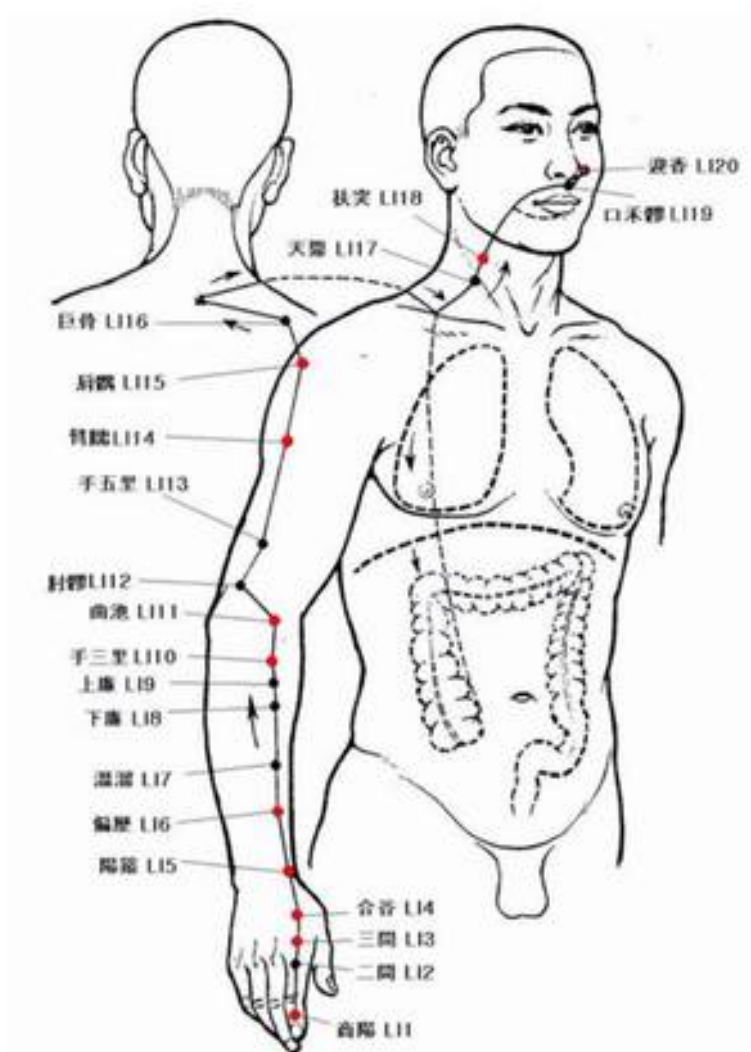
**指標**

肩可動域、手の可動域など

【どんな疾患に使うのか？】

心臓疾患由来の症状、腱鞘炎、肘痛、手の痺れ等  
胸を包んでいるため胸の病に使用する

#### ④ 大腸経



【どんな治療に使うのか？】

**内臓治療**：大腸

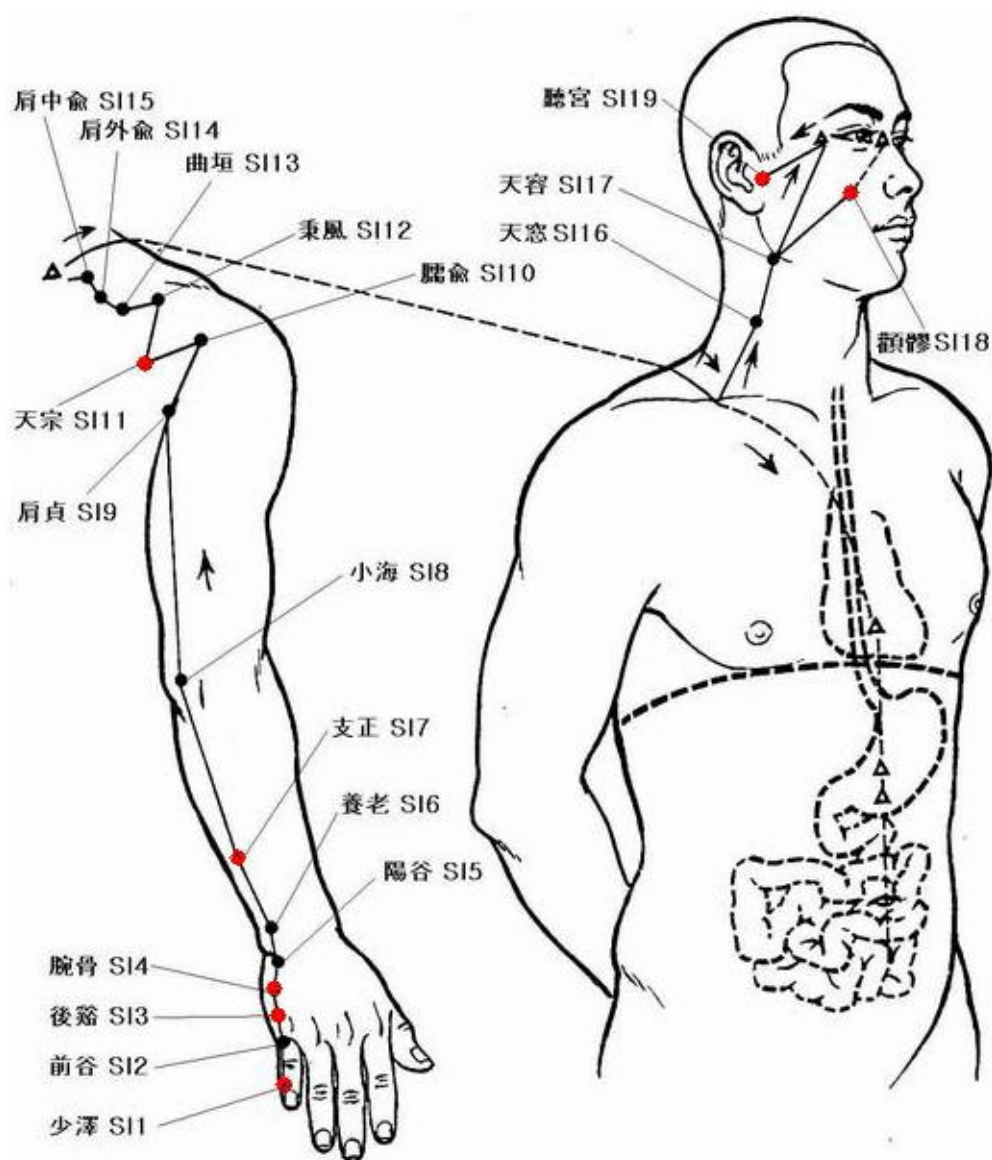
**筋膜治療**：背側骨間筋・長母指伸筋・短母指伸筋・前腕伸筋群・上腕三頭筋・腕橈骨筋・三角筋・上腕二頭筋・僧帽筋・棘上筋・広頸筋・胸鎖乳突筋・口輪筋・小頬骨筋・上唇挙筋

**指標**：肩可動域、頸部可動域

【どんな疾患に使うのか？】

大腸由来の症状（便秘など）、手の痺れ、肘痛、肩こり、腰痛、頸部痛、歯痛にも使われる。

⑤ 小腸経



【どんな治療に使うのか？】

**内臓治療**：小腸

**筋膜治療**：小指外転筋、尺側手根伸筋、尺側手根屈筋、小円筋、大円筋、三角筋、棘下筋、棘上筋、僧帽筋、肩甲挙筋、広頸筋、胸鎖乳突筋、顎二腹筋、大頬骨筋

**指標**：肩可動域、体幹前屈など

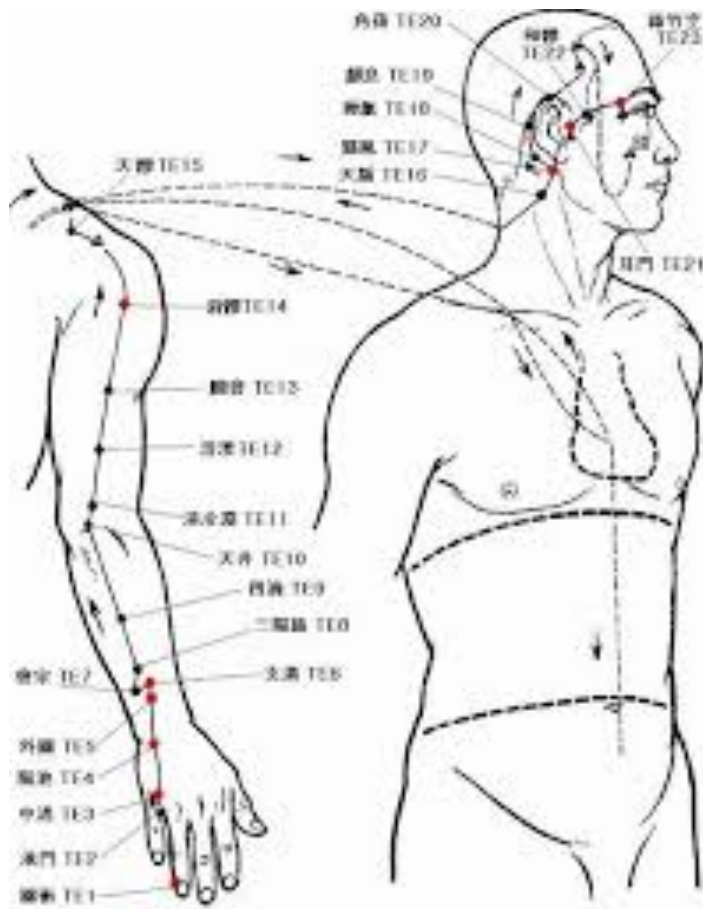
【どんな症例に使うのか？】

小腸由来の症状・腰痛・肩こり・痺れなど

鼻つまりや耳の症状にも有効



## ⑥ 三焦経について



【どんな治療に使うのか？】

**内臓治療**：上焦（肺・心臓）中焦（脾臓・胃）下焦（肝・胆・小腸・大腸・腎臓・膀胱）

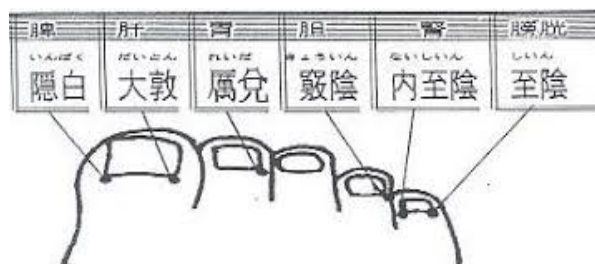
**筋膜治療**：総指伸筋、小指伸筋、上腕三頭筋、三角筋、僧帽筋、胸鎖乳突筋、頭板状筋、顎二腹筋、耳介筋、眼輪筋

**指標**：頸部側屈、肩外転など

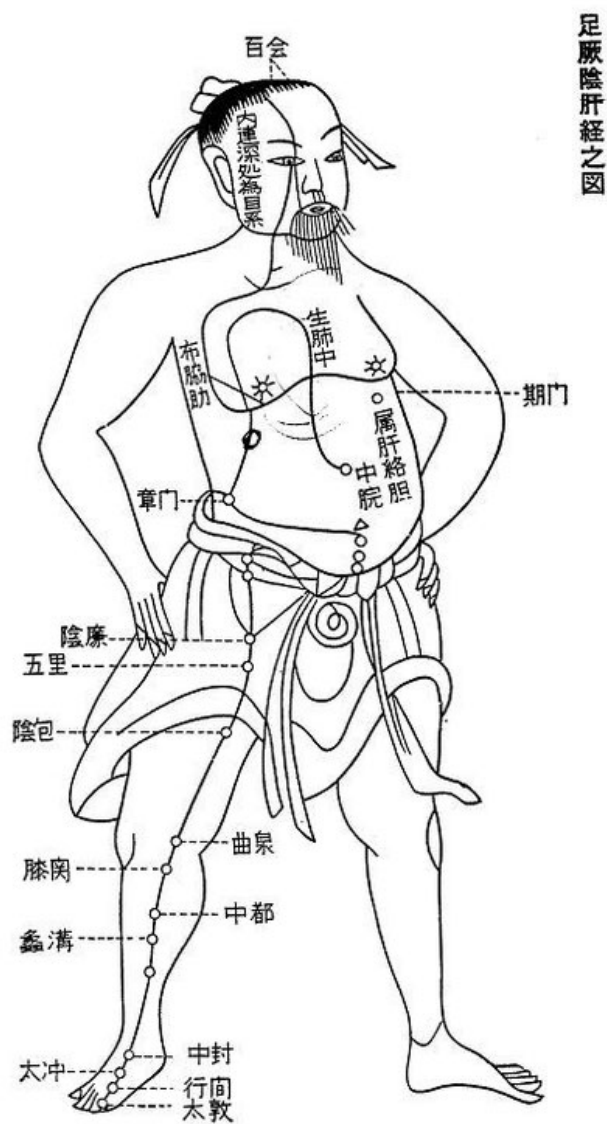
【どんな疾患に使うのか？】

内臓治療の精度をさらにあげるため

【下肢の穴井一覧】



⑦ 肝経について



【どんな治療に使うのか？】

**内臓治療**：肝臓

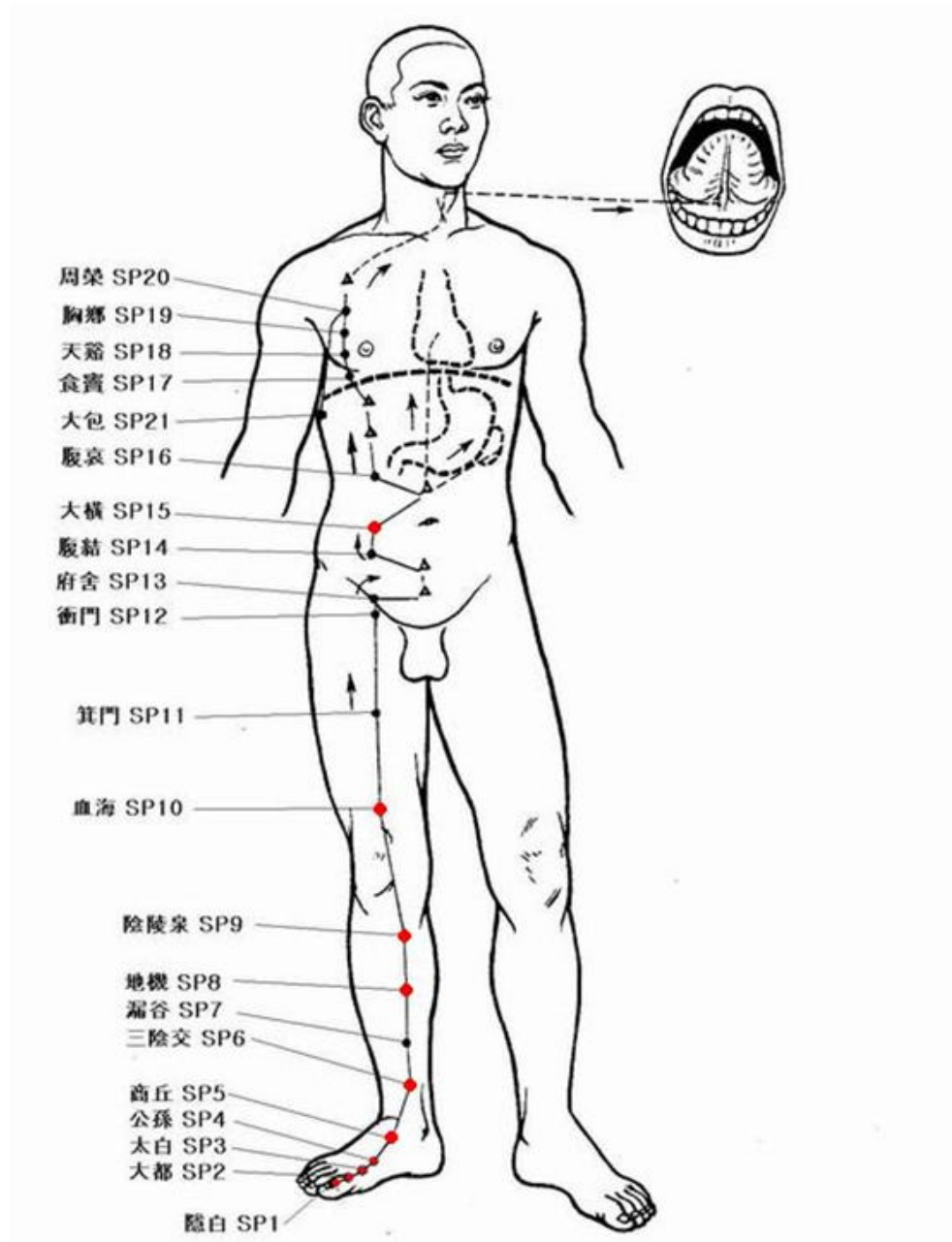
**筋膜治療**：大腰筋、薄筋、半腱様筋、縫工筋、薄筋、恥骨筋、長内転筋、外腹斜筋、内腹斜筋

**指標**：体幹伸展、側屈など

【どんな症状に使うのか？】

肝臓由来の症状や腰痛、目の周りの症状など

⑧ 脾経について



**内臓治療**：脾経（胃・心臓）

**筋膜治療**：後脛骨筋、長指屈筋、ヒラメ筋、腓腹筋、半腱様筋、半膜様筋、内側広筋、縫工筋、大腿直筋、外腹斜筋、内腹斜筋、横隔膜、大胸筋、前鋸筋

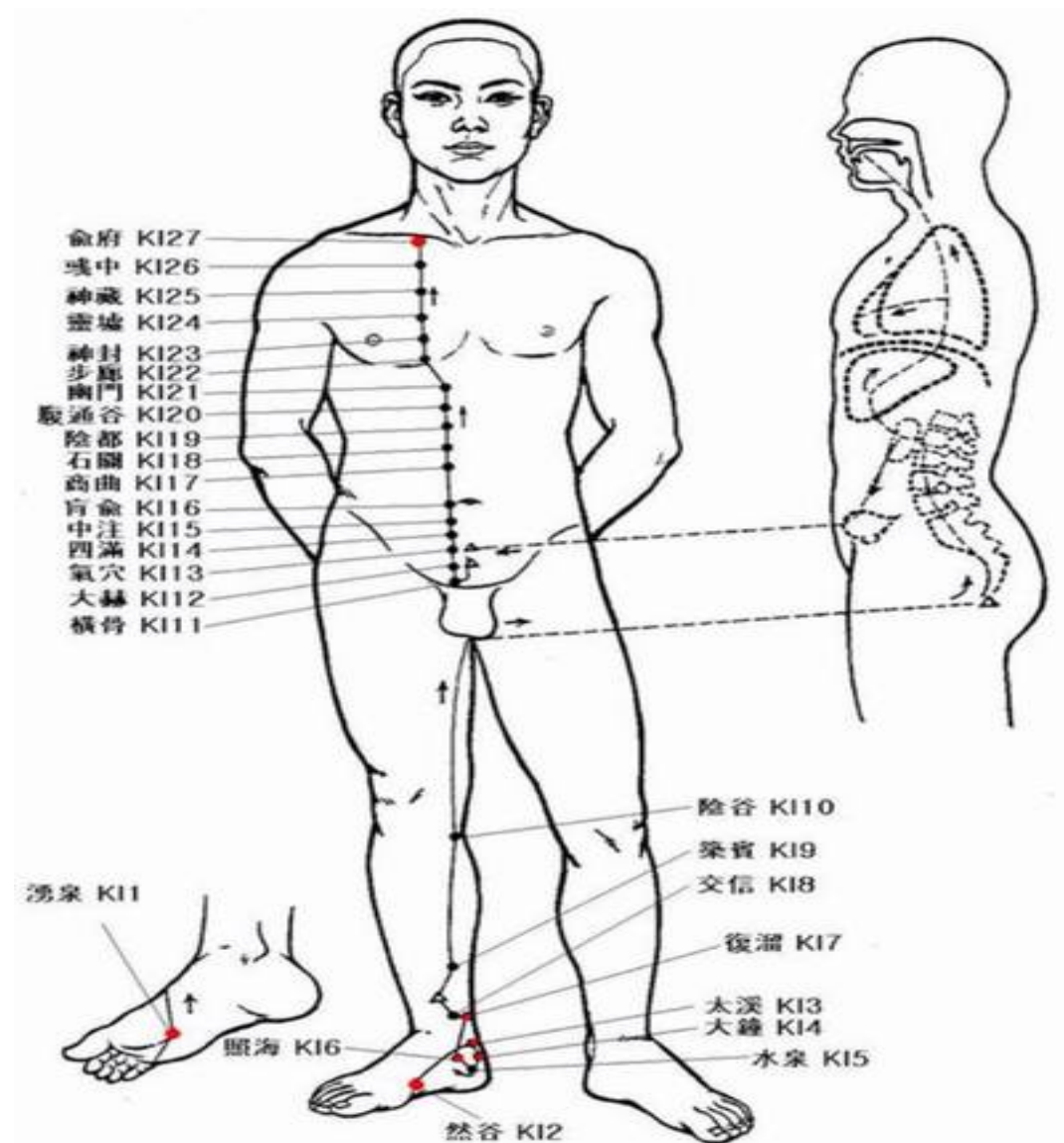
**指標**：体幹伸展、肩屈曲

【どんな症例に使うのか？】

脾臓由来の症状、腰痛、膝痛など

心臓由来の症状にも使う場合あり

⑨ 腎経について



**内臓治療**：腎臓（肺）

**筋膜治療**：足底腱膜、短趾屈筋、後脛骨筋、腓腹筋、ヒラメ筋、腹直筋、大胸筋、外・内肋間筋、鎖骨下筋

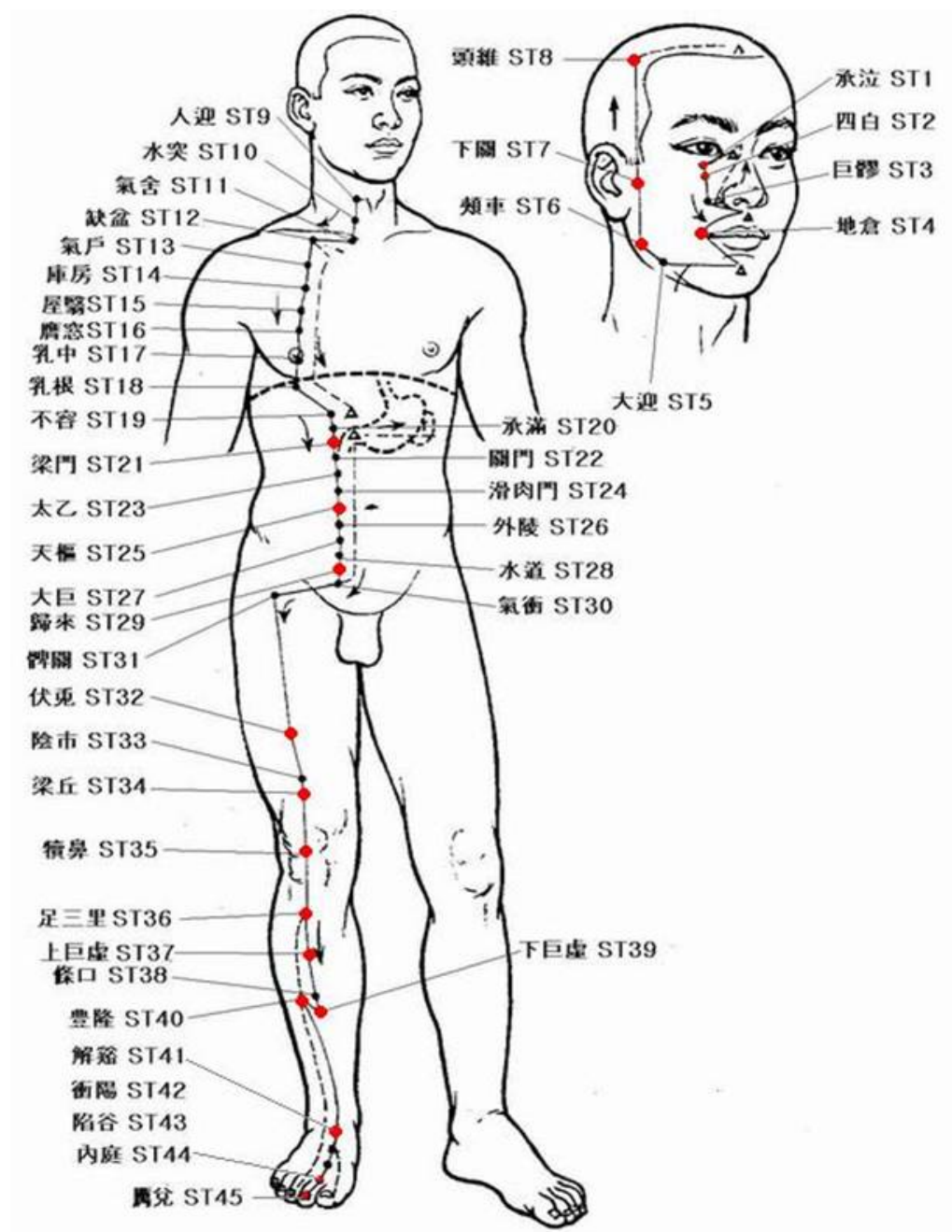
**指標**：体幹伸展、頸部側屈など

【どんな症例に使うのか？】

腎臓由来の症状、腰痛、膝痛など

肺由来の症状にも使う場合あり

⑩ 胃経について



**内臓治療**：胃（大腸・小腸）

**筋肉治療**：眼輪筋、小頬骨筋、広頸筋、咬筋、外側翼突筋、前頭筋、胸鎖乳突筋、中斜角筋、大胸筋、鎖骨下筋、腹直筋、腹斜筋、大腿直筋、縫工筋、TFL、外側広筋、前脛骨筋

**指標**：頸部側屈、回旋など

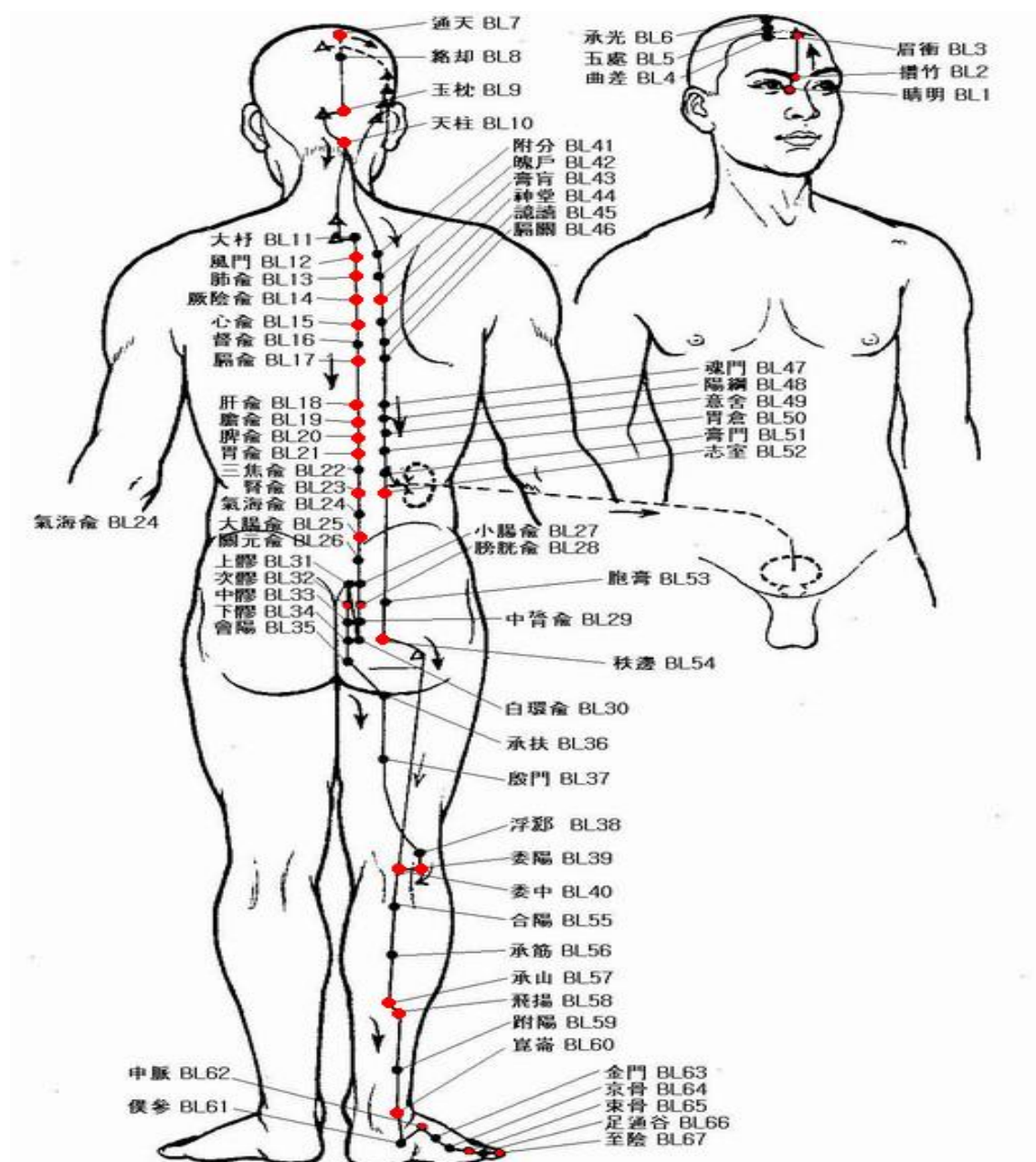
【どんな症例で使うのか？】

胃に関係する症状、腰痛、膝痛など

大腸や小腸由来の症状にも使う場合あり



## 11 膀胱経について



**内臓治療**：膀胱（腎臓）

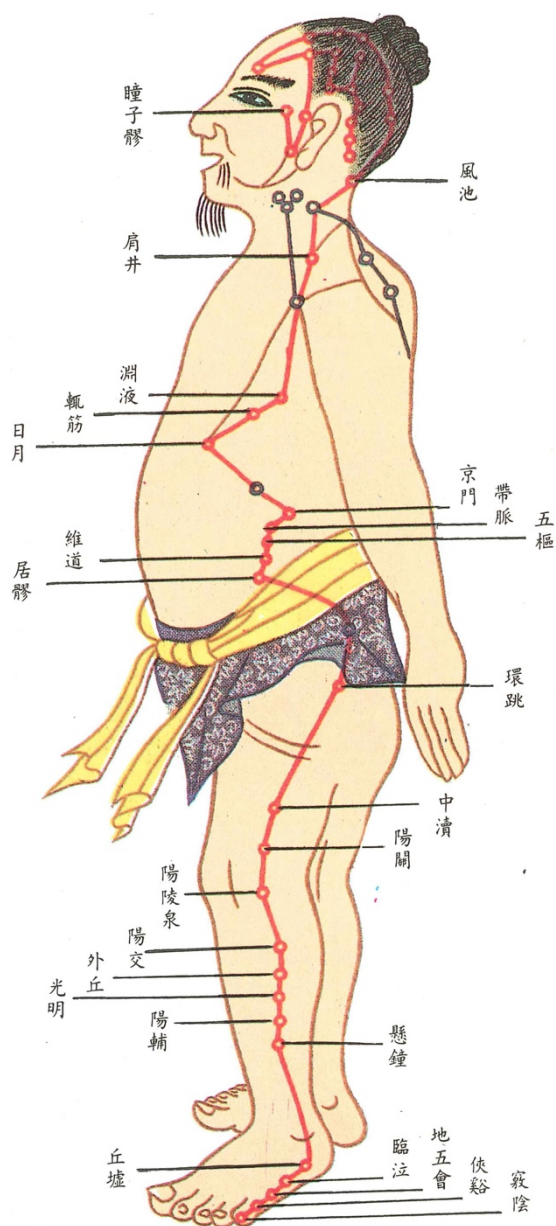
**筋膜治療**：眼輪筋、前頭筋、帽状腱膜、後頭筋、僧帽筋、菱形筋、広背筋、大臀筋、半腱様筋、大腿二頭筋、脊柱起立筋、膝下筋、足底筋

**指標**：膝倒しなど

【どんな症例に使うのか？】

膀胱、腎臓由来の症状、腰痛、膝、足底痛、肩こりなど

## 12 胆経について



## 足少陽膽經之圖

凡四十三穴  
左右共八十六穴

**内臓治療**：胆嚢

**筋膜治療**：眼輪筋、側頭筋、後頭筋、胸鎖乳突筋、頭板状筋、帽状腱膜、前鋸筋、外腹斜筋、内腹斜筋、中臀筋、TFL、外側広筋、大腿二頭筋、長脛靱帯、長腓骨筋、ヒラメ筋、短腓骨筋、

**指標**：頸部、体幹側屈など

【どんな症例に使うのか？】

胆嚢由来の症状、肩こり、腰痛など

耳周りの症状にも有効